

営業収益は、ショッピングクレジット事業や決済事業の安定的な成長、カードのリボ残高の増加、住関連商品の残高の積み上げにより、718億円(前期比5.3%増)。  
 営業費用は、トップライン強化に係る費用の増加や過払利息に係る利息返還損失引当金を31億円積み増したことなどにより、648億円(同3.6%増)。  
 この結果、経常利益は76億円(同27.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は71億円(同35.3%増)。

1. 要約損益計算書

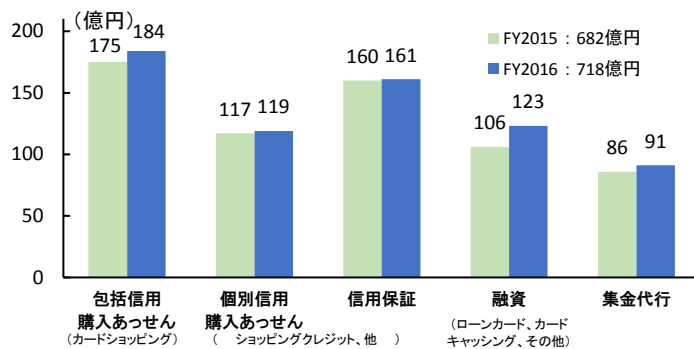
(単位:億円)		FY2015			FY2016			FY2016業績予想		FY2017
				前期比			前期比	通期	予想比	業績予想
営業収益	1	682	718	5.3%	700	102.7%			730	
営業費用	2	625	648	3.6%						
販売費及び一般管理費	3	601	621	3.5%						
人件費・物件費等	4	483	502	4.0%						
クレジットコスト	5	117	118	1.3%						
貸倒引当金繰入額	6	90	87	-2.7%						
利息返還損失引当金繰入額	7	27	31	14.8%						
金融費用	8	24	26	5.9%						
営業利益	9	56	70	25.0%	100	70.7%			105	
経常利益	10	60	76	27.3%	100	76.4%			105	
親会社株主に帰属する当期純利益	11	53	71	35.3%	90	79.7%			100	

<アプラスグループ 各事業のトピックス>

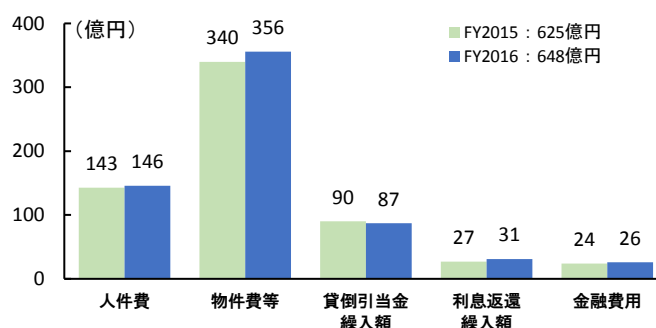
- (カード事業)
- ・ポイント高還元カード「アプラスアクシス」シリーズ、富裕層向け「Luxury Card(ラグジュアリーカード)」発行開始、興能信用金庫、ドイツ・ブンデスリーガのボルシア・ドルトムントと提携
  - ・電子マネーサービス「Tマネー」のチャージサービスへの対応開始、Apple Pay対応開始
- (ショッピングクレジット事業)
- ・「アプラスeオーダー」の利用可能な加盟店網の拡大、「Tポイント付きショッピングクレジット」推進継続
  - ・新生銀行グループの昭和リースと連携し、ベンダーリース事業を開始
- (決済事業)
- ・中国人向け決済サービス「WeChat Pay」の日本での決済代行サービス開始、利用店舗網の迅速な構築
  - ・EC事業者向け総合決済ソリューションサービス「アプラスペイメントサービス『e-ゲート』」提供開始
- (ローン事業)
- ・住宅購入時の諸費用等を対象とした「マイホームプラン」や、首都圏を中心とした優良な中古ワンルームマンション等対象の投資用マンションローン残高の積み上げ

2. 部門別営業収益

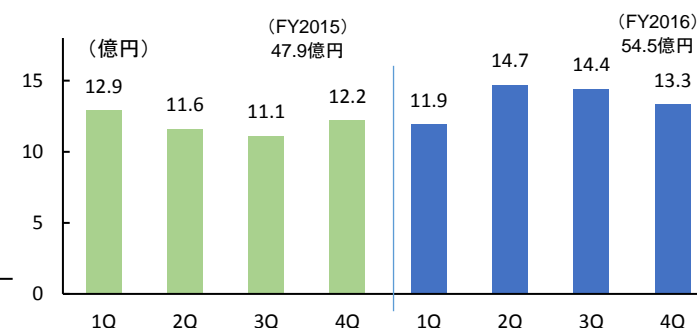
※グラフには金融・その他収益を含まない



3. 営業費用内訳

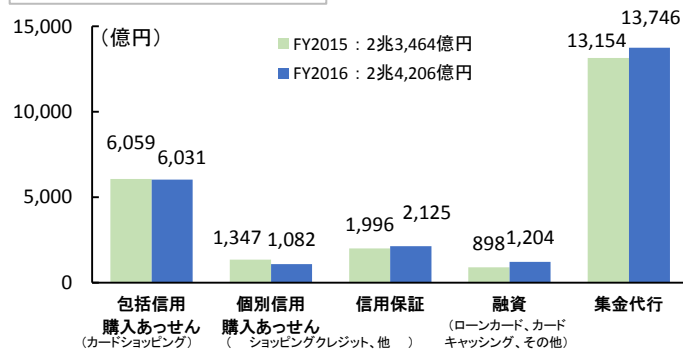


4. 利息返還実績四半期推移



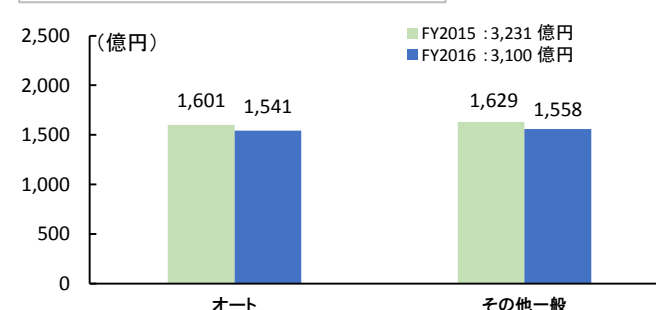
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない



6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳

